

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5635 心と文化			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	82
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	火曜2限				
教室	H403教室				
代表教員	角尾 宣信				
担当教員	角尾 宣信				
テーマと到達目標	災害や戦争、事故や暴力的事件など、人生でも歴史でも、大変な事態が起こります。それに対し人は、社会は、どのように対処するのでしょうか？ 近年の人文科学では、こうした事態がもたらす「傷あと」を、「トラウマ」と総称し研究する分野があります。本授業では、トラウマに関する理論的な視点を学び、傷あとが、どのように人格や社会の形成に影響を与えるかを理解し、事態の大変さに流されない判断力を身に付けていきます。				
概要	本授業では、トラウマに関する様々な理論を紹介するとともに、戦争および敗戦のトラウマを通じて形成されてきた近現代の日本社会とその文化を、各理論が与える視点から分析します。扱う理論としては、トラウマ理論、曖昧な喪失、文化的トラウマ等を取り上げます。分析する文化事象としては、敗戦後に公開された映画『君の名は』と近年公開されたアニメ『君の名は。』を中心に、先の日中戦争および太平洋戦争、そして3.11をめぐるトラウマに関して考察していきます。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション——「トラウマ」ってなんだ？				対面授業
第2回	空襲体験のトラウマ				対面授業
第3回	トラウマの「治癒」と敗戦後日本のメロドラマ				対面授業
第4回	敗戦後の社会と曖昧な喪失				対面授業
第5回	曖昧な喪失からみた『君の名は』				対面授業
第6回	文化的トラウマとしての『君の名は』				対面授業
第7回	3.11のトラウマと映像				対面授業
第8回	3.11をめぐる証言から見えてくる構造的暴力				対面授業
第9回	原発事故処理によるトラウマの深刻化				対面授業
第10回	3.11と『君の名は。』 ——トラウマの地政学から見る				対面授業
第11回	メロドラマとしての『君の名は。』				対面授業
第12回	3.11と『君の名は。』 ——トラウマとナショナリズム				対面授業
第13回	3.11と『君の名は。』 ——文化的トラウマと大人の責任の隠蔽				対面授業
第14回	3.11と『君の名は。』 ——「完成」し得ない救いと死体				対面授業
第15回	まとめ				対面授業
成績評価の基準	定期的な小レポート（200字以上。提出方法等は初回授業で指示）と、学期末レポート（課題内容や提出方法等は後半の授業回で指示）により、成績評価します。出席はポータルでの登録により管理しますが、欠席が6回以上の者は単位認定しません。また、インターネット上等から複写した文章を出典明記せず記載した回答は、一回でも「剽窃行為」として不可、複数の者が同文の回答を提出した場合も全員を不可とします。				
履修にあたっての留意事項	・小レポート、期末レポートにおいては、生成AIの使用を禁止します。発覚した場合は呼び出し、または不可とします。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし。		
教科書	各授業で資料を配布します。また、映像や音声資料に関しては、授業中に抜粋部分を観賞し、議論します。	教科書(ISBN)	
参考文献	各授業で指示します。	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	<p>本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること</p>		
--------------------	---	--	--